

お話の学習指導案

教育目標

題名 ・ 세そう (セジョン) 大王とくん민せいおん

年齢 ・ 児童(6~9歳)

主題 ・ 目標: 세そう (セジョン) にかんするお話をたのしくきいて、ハングルをつくったりゆうをりかいする。
・ 主題: あい

キーワード ・ 세そう (セジョン)、ハングル、くん민せいおん、どくしょ、本をよむ、ちょうせん、かへい、まんウォン、王、王さま、

韓国文化 ・ 目標: 세そう (セジョン) 大王がつくったハングルにかんするきょうみをもつ。
・ 要素: 세そう (セジョン) 大王、ハングル、くん민せいおん

韓国語

- ・ 目標 : はんたいになることばになれて、ひょうげんしてみる。
- ・ 単語 : 쉽다 (かんたんだ)、어렵다 (むずかしい)、
쉽지 않다 (かんたんではない)、어렵지 않다 (むずかしくない)
- ・ 表現 :
배우기 어려웠어요. (ならうことがむずかしかったです。)
쉽지 않았어요. (かんたんではなかったです。)
배우기 쉬웠어요. (ならうことがかんたんでした。)
어렵지 않았어요. (むずかしくなかったです。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、だいめい、さっさと出てこい！
"せそう(セジョン)大王とくんみんせいおん"です。
みなさん、ある国ではずっとときおくしておきたい人をお金にえがいて入れた
りもします。ここに、まんウォンがあります。ここにえがいてある王さまのなま
えをしていますか？まさに、せそう(セジョン)大王さまです。ソウルのクァン
ファムンのひろばには、せそう(セジョン)大王さまの大きなどうぞうがたてて
あります。いったいせそう(セジョン)大王さまはどのようなことをされて、人
びとがずっとおぼえておきたいのでしょうか？今日のお話をとおしてしらべま
しょう。



お話の始まりの歌を歌う

"せそう(セジョン)大王とくんみんせいおん"のお話の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしむかし、ちょうせんという国がありました。ちょうせんには本をよむことがとても好きな王さまがすんでいました。ごはんを食べるときも、本をひろげて見るほどでした。王さまは本だけでなく、かがくとさんすう、音がかくまでもひじょうにたのしみました。この王さまは今日の、せそう大王といわれるかたです。せそう大王さまがわかい王子さまのときのお話です。

“空のせん、土のじ、くろのげん、、、”

“ああ、空をいみする文字はこのようにできているのか。いや、おもしろいな。”

王子さまはたのしく文字をならいました。王子さまがならった文字はかんじでした。かんじはとてもむかしに中国でつくられたのですが、ちかくの国でもかんじをいっしょにつかったといわれます。そのときは、本をよもうとするとせんこほどのかんじがひつようでした。せんこのかんじがかいてある本をせんじもんと言います。そのため、かんじをならうことはとてもむずかしかったのです。

王子さまはかんじをいっしょうけんめいならい、本をよめるようになりしました。王子さまは本をよんで、またよみました。おなじ本を100かいもよんだりもしました。本をよむのにむちゅうになり、そとにでてあそばないときもおおかったのです。しんどいときも本をよみました。

“ごほんごほん、ああ、あたまが。ふらふらするな。だけどきのうよんだ本をよみたい。”

しんどい王子さまのめんどうをみていたしんかは、しんぱいがなみたいいていではありませんでした。そして王さまににむかってはしって行き、しらせました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“なんだと!王子がしんどいのになをよんでいるだと?”

王さまはとてもおこりました。はやくよくなるには休まなければならないのに、本だけをよむ王子がしんぱいだったからです。

“すぐに王子のへやにある本をぜんぶだして来るように!”

しんかたちは王子さまのへやにある本をぜんぶふろしきにつつんで、もって来てしまいました。びょうぶのすきまにはさまった、てがみの本だけをのぞいてでしょう。王子さまはその本をよんで、またよみました。

“言いたいことばを文字にかいておくれればとてもべんりだ!それなのに、かんじはとてもむずかしい。だれでもかんたんに文字をよんでかければ、どんなにいいだろうか?”

かんじではなしたいことばを書くことは、かんたんではありませんでした。韓国(かんこく)のことばと中国のことばがちがうためです。のうじをするのにいそがしいみたちは、もじをしらないので文をかくことができませんでした。王子さまはだれでもかんたんにならいかくことができる、かんこくだけの文字をつくらなければとかがえしました。しかし、あたらしい文字をつくることはとてもたいへんでした。王さまになってもつづけてけんきゅうしました。

せそう大王さまはながい時間がすぎ、ついにあたらしいもじをつくりました。
“すべての人がかんたんにならい、らくにかくことができる。この文字をくんみんせいおんしょう。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

せそう大王さまにっこりとわらいました。くんみんせいおんはたみをおしえる正しい音(訓民正音)といういみです。このくんみんせいおんが、まさに韓国(かんこく)人がつかうハングルです。くんみんせいおんは28この文字でかんたんですが、すべてのものを書くことができました。

“わたしは一日でくんみんせいおんをぜんぶおぼえた。くんみんせいおんはほんとうに、ならいやすい文字だ。”

“うあ、すごくはやくなつたのだね。わたしは10日ですべてならつたわ。”
みんながいうように、くんみんせいおんはならうことがむずかしくなかったのです。

“とりは"こっけこー"となくから、このように書くのだよ!”

“かぜは"ぴゅーぴゅーふくので、このように書くでしょ。”

このようにくんみんせいおんは、せかいのすべての音もひょうげんできました。

せそう大王さまのおかげで、もじをならってかくことができるたみたちは日ごとにふえていきました。たみたちは本をよんでたくさんのことを学び、かんがえたことを文字で書き、ほかの人につたえることができました。人びとはハングルを書くたびに、いつもたみたちをかんがえるたいせつだったせそう大王さまのことをおもいだしたといいます。ながい時間がすぎても、今も韓国(かんこく)の人びとはせそう大王さまをあいして、そんけいしています。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？

くんみんせいおんはどんな文字でしたか？そうですね。28こでかんたんですが、すべてのものを書くことができます。また、ならうのがかんたんですよ。むずかしくなかったのです。じっさい、"かんたんだ" (シプダ) と"むずかしい" (オリョプタ) ははんたいのことばです。ですが、"むずかしくない" (オリョプチ アンタ) のように"むずかしい" (オリョプタ) に"ない" (アンタ) をつけるとはんたいのことばになります。みなさんもかぞくとはんたいのことばをさがしてみて、ひょうげんしてみてください。

みなさん、くんみんせいおんはだれが作りましたか？

そうですね。せそう (セジョン) 大王さまです。くんみんせいおんはすべてのことばをもじで書くことができます。韓国 (かんこく) はくんみんせいおんがつくられた日をきねんしています。その日はちょうど、10月9日です。くんみんせいおんは今日 ハングルとよばれます。そのため、10月9日はハングルの日といいます。ハングルの日にはテグキをかけて、きねんします。

せそう (セジョン) 大王さまとくんみんせいおんにきょうみがあるおともだちは、"どらんどらん お話ホームページ"でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと"せそう(セジョン)大王とくんみんせいおん"のお話をまとめてみましょう。

せそう(セジョン)大王さまはたみたちが文字をしらないと、くやしいことやこ
んらんしたことにあうかもしれないとかがえました。そのため、たみたちが
かんたんにならうことができる文字をつくられました。たみたちをかがえた、
せそう(セジョン)大王さまのあたたかいところをすることができますね。せそう
(セジョン)大王さまがつくったたいせつなハングルでかぞく、ともだち、せん
せいにもところをひょうげんしてみましょう。あいがこもったてがみをわたして、
"ありがとう"、"あいしているよ"とはなしながら、一日をはじめてみましょう。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあ
いさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんぴはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！